

# 就活号砲 表情も社会人

## 県内大学生 説明会出席

### 売り手市場 “油断大敵”

2020年春卒業予定の大学生に対する大手企業の会社説明会が1日、解禁され、県内でも就職活動が本格スタートした。全国的な人手不足で「売り手市場」とされるが、学生や大学関係者は「学生が望む企業は買い手市場だ」と気を引き締め、就職戦線に臨む。

【10面参照】



熊本大で開かれた就活スタートセミナーで、企業の人事担当者の話を真剣な表情で聞く学生たち  
1日、熊本市中心区

めることが重要だ」と助言する。同大は3月中旬まで約180社を順次大学に招いた説明会も予定する。

熊本学園大や県立大、九州ルーテル学院大もこの日、福岡市のヤフオクドームであった合同企業説明会にそれぞれバスを準備して学生を送迎した。崇城大は5〜7日、計約30社を招いた独自の学内説明会を開く。

大手企業の大卒者の採用は今後、6月1日に面接などの選考がスタートし、10月1日の内定解禁と進む。

一方、地場企業も大いに負けじと採用活動に本腰を入れ始めた。住宅設計・販売のリアワーク（山鹿市）は3月中旬から、県内をはじめ福岡市などで会社説明会を開催する。営業職を中心に、設計など昨年より10〜20人多い40〜50人の採用を見込む。採用担当者は「うちは成長途上の企業。自己成長したい学生に集まってもらい、会社も一緒に成長していきたい」と話す。

鶴屋百貨店（熊本市）や肥後銀行（同）も1日、ヤフオクドームで合同企業説明会に参加。今後、自社独自の（太路秀紀、山本文子、説明会も開き、採用活動 中原功一朗）

熊本大は、学生向け「就活スタートセミナー」を熊本市中心区の黒髪キャンパスで開き、約100人が参加。トヨタ自動車や三菱UFJ銀行といった大手5社を招き、各人事担当者の就活体験や各社の特徴などを聞いた。

マスコミが航空会社を希望する文学部3年の谷口利穂奈さん(21)は「売り手市場といっても難しい企業は倍率も高い。しっかりと自己アピールをしたい」。金融志望の教育学部3年、浦本麗央さん(22)は「自分の言葉で企業に売り込みみたい」と意気込んだ。

昨春の同大卒業生の就職内定率は96・4%と過去最高。今春卒業予定の学生も同様の傾向だが、日和田伸一就職支援課長は「売り手市場の上にあぐらをかくのではなく、自身と企業をしっかりと見つ